

水性反応硬化形アクリルシリコン樹脂系軒天専用塗料

アレスダイナミックノキエ

系 統 水性反応硬化形アクリルシリコン樹脂系塗料

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 低VOC形の水性塗料で、臭気が少なく、安全で取り扱いが容易です。
- 2) 仕上り肌が良く、シックで優美なつや消し仕上げが得られます。
- 3) 軒天塗装に適しています(凹凸が大きいリシン面など、状態によってはアレスノキエコート推奨します)。
- 4) 水性反応硬化形樹脂を用いており、付着性、耐水性、耐アルカリ性
- 5) などの塗膜耐久性に優れています。  
防カビ・防藻性を有しています。
- 6) 透湿性を有しています。
- 7) 壁に塗装するだけで不快な害虫が寄り付きにくくなります。

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	16kg 4kg
2 混 合 比	—
3 色	ホワイト(N-93相当)及び各色
4 つ や	つや消し
5 仕 上 が り 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.35(白)
7 溶 剤 比 重	1.00(上 水)
8 加 熱 残 分	55%(白)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	—
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	非 危 険 物
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	平滑面 はけ ローラー	リシン面 はけ ローラー			
希 積 率	0~10%	0~10%			
標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0.12~0.14	0.15~0.25			
希 積 剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。  
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目	温 度	
	23℃	
標準塗装間隔	最 短	2 時間
	最 長	7 日
使 用 時 限	—	

主な適用素材

コンクリート、モルタル、スレート、石膏ボード、押し出し成形板、珪酸カルシウム板 など

主な適用下塗塗料

アレスダイナミックシーラーマイルド、アレスダイナミックシーラーアクア、エコカチオンシーラー、エポMシーラー、浸透形Mシーラーなど、

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 1) 開缶後よくかきまぜて均一にしてから使用してください。
- 2) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製(H-2)または5%以下(ケツ科学社製HI-500シリーズ;コンクリートレンジ)まで乾燥させた後、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装して下さい。
- 3) 気温5℃以下、湿度85%RH以上、又は換気が十分でなく結露が生じるような環境では造膜不良が予想されるため塗装は避けてください。
- 4) リシン面など凹凸や吸い込みのある面では塗付け量が大幅に増えますので、事前の試験塗装で確認してください。
- 5) カビ発生面については、次亜塩酸ソーダ水溶液処理後、十分な水洗を行ない乾燥させた後に塗装を実施してください。
- 6) 旧塗膜がつや有塗膜の場合の塗替えでは種類により割れが生じる場合がありますので、事前に試験塗装で確認してください。
- 7) 弾性塗膜の塗替えには使用しないでください。
- 8) 塗料の保管については低温(0℃以下)や、高温(40℃以上)、直射日光下は変質が生じますので注意してください。
- 9) 傷補修などのタッチアップが必要な場合がありますので、使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、塗装方法によって塗装してください。
- 10) 換気扇周りなど油污れの著しい箇所は中性洗剤等で油分をしっかりと落としてから塗装してください。
- 11) 塗料のうすめ過ぎは隠ぺい性不足、仕上がり不良となりますので注意願います。
- 12) 換気のよい場所で取り扱い、容器はその都度密栓してください。
- 13) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項についてはSDS(安全データシート)を参照してください。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。